

# 金カ!コージのなるほど書字授業

Vol.4 学ぶ意味を知って、楽しく学ぶ

作/藤井浩治 画/ホリグチイツ



学ぶ意味を  
知る

その1

行書を学ぶメリットを知るべし

小学校の教師は、子どもの書き写すスピードに合わせて、  
一画一画丁寧に、ゆっくり板書しています。  
中学校一年では、小中の接続を意識して生徒を導く必要があります。  
行書をなぜ学ぶのか、学ぶとどうなるのかを  
理解させてから学習をスタートする

小学校よりも中学校は学習  
内容が多くなるため、学習  
速度が速くなる

当然、ノートを書く場面など  
で適度な速度が必要となる

急いで書くとき文字が乱れて、  
読みにくい字形が身につい  
てしまう

メリット

行書は、速く整えて書くことができる



学ぶ意味を  
知る

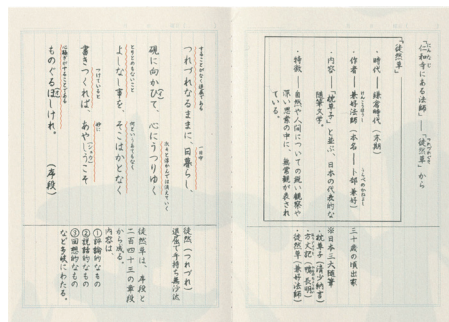
その2

行書を学んだ後の姿をイメージさせるべし

行書を書けるようになった  
自分の姿をイメージさせてから、  
学習をスタートする

行書を使える  
先輩への憧れの気持ち

子どもっぽい文字  
から「大人の文字」へ



▲ 中学校2年生の作品、ノート



姿勢・持ち方の意味を知る

その2

肘を高く構えるべし

脇を閉じると「肘」を支点にして小さな動き

肘を高く構えると「肩」を支点にして、大きな動き

脇を開いて、肘を上げると、可動域がぐんと広がり伸びやかな線が書けます

スポーツでも構えが小せえと大きな動きはできないっちゃバットやラケットの握り方をまちがえたらうまく打てねえ筆も同じだっちゃ

姿勢・持ち方の意味を知る

その1

親指を横向きにすべし

鉛筆は先が硬いので

筆は先が柔らかいので

斜めにしても芯の先が紙に当たる

斜めにするとう穂の先は逃げてしまいます

親指を下を向くと手首を曲げないと立たない

だから、すぐに筆が斜めに……

だから毛筆は立てて書く

親指を軸に対して横向きにすると筆が倒れにくくなる

姿勢・持ち方を意識できている！

Good!

わかったからといって全員ができるわけではないですよ

できていない人を注意するのはなく、できている人を大きな声でほめます

基本である姿勢・持ち方を徹底してほめれば必ず結果が出てきますので成果をほめて楽しい学びを創造していきましょう！

生徒たちの表情も変わってきたっちゃ！よし、やっべ！

子どもたちを「書写好きに」……熱い思いでコージは次の学校へ……

本当だ……行書の導入を工夫したっけ、生徒の雰囲気が変わった

ようし！そしたら行書を書くべ！まずは姿勢だっちゃ！

背中がびん！足の裏を床に付けて

だめだめ！その姿勢は！姿勢が大切だ！

型にはめようとするだけでは生徒にとって「やらされ感」が強くなってしまいます姿勢や持ち方が大切な理由を伝えて、納得させるとよいです

しまった……まだ雰囲気が悪くなったような……

どよ〜ん

理由なんて……

姿勢・持ち方の意味を知る

その1

親指を横向きにすべし

鉛筆は先が硬いので

筆は先が柔らかいので

斜めにしても芯の先が紙に当たる

斜めにするとう穂の先は逃げてしまいます

親指を下を向くと手首を曲げないと立たない

だから、すぐに筆が斜めに……

だから毛筆は立てて書く

親指を軸に対して横向きにすると筆が倒れにくくなる

姿勢・持ち方を意識できている！

Good!

わかったからといって全員ができるわけではないですよ

できていない人を注意するのはなく、できている人を大きな声でほめます

基本である姿勢・持ち方を徹底してほめれば必ず結果が出てきますので成果をほめて楽しい学びを創造していきましょう！

生徒たちの表情も変わってきたっちゃ！よし、やっべ！

子どもたちを「書写好きに」……熱い思いでコージは次の学校へ……